



「後半の後半」

理事長

五十嵐 秀 夫

組合員・賛助会員（以下、組合員等）及び提携企業の幹部社員・営業職員の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年中は格別の御引立てを頂き厚く御礼申し上げます。

昨年は内では原発等のエネルギー・年金と高齢者医療・消費税等の税制・T P P・少子高齢化による構造的な人口減による内需の減少等々多くの問題を抱え、一方外では欧州政府債務危機の長期化・中国経済の減速・中東の紛争等々と問題多発で正に「内憂外患」の状況で新年を迎えました。

また、政治の混迷による「決められない政治」と言われて久しいですが、昨年末に衆議院で解散総選挙が行われ、この会報が皆様に読まれるころには新しい政治の枠組みも決まって、「決められる政治」で多くの問題を解決することを期待したいと思います。

原発事故による原油・L N Gの大幅輸入増加及び領土問題による中国への輸出の大幅減等により貿易収支は昨年7月から4ヶ月連続の赤字となり、相変わらずの円高・株安等大変厳しい経済環境の中、新潟県税協の第47期の業績は中間決算ベースで税引前利益が前期比3倍の921万円となり大幅な増益となりましたことは組合員等をはじめ税理士会役員及び提携企業幹部職員の皆様のご支援・ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

◎事業の推移

1 全税共

全税共第27回V I P・年金全国統一キャン

ペーン（24年9月～11月）の優績者の入賞者数は82人（前年98人）と3年連続の減少となりましたが、収納保険料は平成24年4月から10月までの期間で前年対比105%と引続き堅調に推移しております。しかし、24年9月および10月の収納保険料が前年対比でマイナスと急ブレーキがかかったのが気がかりなところです。内訳は営業職員部門が同期間前年対比で104%（前年100%）と大幅に伸展しましたが、税理士代理店部門は同110%（前年120%）で伸びが鈍化したことがマイナスの要因と考えられます。

2 総合事業保障プラン（大同生命）

第1次（24年4月～7月）及び第2次（24年9月～12月）キャンペーンを実施した結果、今年度も引続き堅調で、平成24年12月で残り3ヶ月を残して今年度の目標120億円を突破することが予想されます。平成24年4月から11月までの事務手数料収入は前年対比119%（前年同期間は111%）と大幅な増収となっており、このままの伸展率で推移すると今年度の手数料収入は3,100万円となり、目標としていた全税共の事務受託収入と肩を並べることとなり、県税協の収益基盤の安定が一層図られることとなりました。

3 あんしん財団

平成24年度新規加入者目標550名に対し11月30日現在262名（前年度同期間が241名）と微増ですが、目標に対しては前年度と同様に低調に推移しております。組合員等及び事務所職員に制度の内容をご理解していただき、関与先に加

入の勧奨をお願い申し上げます。

4 教育・情報部門

平成24年度も「確定申告の手引き」の配付を3出版社の選択制とし、組合員等事務所の図書経費負担の補填を目的として平成24年度は7千円（前年度5千円）を限度に「希望書籍の無償配付」を実施しました。

研修は平成24年4月岩下先生の「資産税」研修、10月岸田先生の「更正の請求を巡る実務」研修会を実施し、更に3回シリーズで7月・8月清田先生の「農家・地主の税務」研修会を実施しました。また、24年10月から開始した事務所職員を対象とした3回シリーズの「消費税実務講座」を実施し、年間を通して組合員等及び職員の皆様の研修会の参加の機会を提供しました。

但し、上記の研修は1人の常務理事が担当してその負担も重く、今後より多くの研修会を開催するには、県連・支部の研修部との連携は不可欠であり、協議を重ねて一層の内容の充実を図りたいと思います。

5 福利厚生部門

小規模企業共済・倒産防止共済は引続き堅調で、過去3年間の業務受託手数料の推移は233万円→287万円→402万円で、今年度は450万円を超えることが予想され大幅に伸展しております。組合員等の皆様に県税協の取扱い事業であるということが周知されてきた証ではないかと思っております。

◎結びに

新潟県税協の現執行部役員の任期は残すところあと6ヶ月となりました。

2年間の任期を四分割すると残り6ヶ月はまさに「後半の後半」であり、スポーツの試合では最後の時間帯で体力差・集中力の差・運動量の差等が表れ大差に繋がるケースが多いと言われています。我々執行部も「後半の後半」の組合業務について気を抜かず、集中力及び緊張感をもって精励し、次の執行部役員にスムーズにバトンタッチできるよう頑張りたいと思います。

平成25年が組合員及び賛助会員並びに関係団体の皆様にとって最良の年となることを祈念して、新年のご挨拶といたします。

新潟県税理士協同組合主催麻雀大会

専務理事 笹川 義晴

平成24年11月17日（土）新潟市の「湖畔」において新潟県税理士協同組合主催の麻雀大会が行われました。

五十嵐理事長の挨拶で、再開して3年目となる今回は、井部本会副会長、池県連会長はじめ総勢52名の皆様に参加して頂き、昨年より4卓多い13卓での盛大な大会になった事への感謝が述べられた後、午後1時より戦いが始まりました。

ルールは組み合わせを替えての半チャン（1時間制限）2回の結果を集計し、最後の半チャンは上位者より4人ずつ区切っての組み合わせにし、3回の総合計により順位を決めるというものです。



大会は満貫賞が飛び交う中、国士無双の役満まで出る景気のいいものとなり、皆さん十分に楽しんでいただけたようでした。

その後の懇親会において表彰式が行われ、来年もぜひ参加したいと言う方ばかりで、大成功

の大会であったと確信しているところです。

- 1位 井部 俊一 (高田地域)
- 2位 鳴海 惇 (新潟地域)
- 3位 佐藤 久 (三条地域)
- 4位 外山 真治 (新潟地域)
- 5位 本間 泰雄 (長岡地域)



【税協麻雀大会】“高田支部6人衆いざ出陣”

高田支部 井部 俊一

11月17日(土)午前9時、1台のワゴン車が新井を出発し、途中高田で2人、大潟で1人乗せ計6人で柿崎ICから高速に入り、いざ麻雀大会会場の「湖畔」へと向かいました。

車中では、参加経験のある税協役員の笹川義晴会員・横田晃一会員そして過去唯一役員以外で高田支部から昨年初めて参加した金子茂会員の3人を中心に、藤巻義弘会員・石田昇会員・私はただ聞き役に回り?、雰囲気はどうか?参加者名簿を見て上手な会員は誰か?ルールはどうか?等、話は大変盛り上がっていました。6人全員が参加賞以外の賞品がもらえるといいね!ということで目標は決まりました。

結果は、4人が賞品をもらえて2人が残念でした。(まあまあ確率かな?ちなみに、横田会員はお子さんが女の子5人ですが、満貫賞をちょうど5個ゲットしたそうです。さすが!)

私の勝因はただ“運が良かった!”ということと、“かわいい孫”のおかげです。

金子会員から“若い女性の手足に触れると運が良くなる!”というお話をかねてから聞いていました。当日、出発前、我が家には妻と長女と孫(1歳3ヶ月の女の子)がいました。そこで私は迷わず、孫と30分くらい、アンパンマンのDVDを見たり、ハイタッチをしたりして遊んだのが良かったのだと思います。皆さんも是非試してみてください。(ただ、くれぐれも注意してください!)

3回の対戦であたった9人の会員さん達とは全く初めての対戦でしたので、適度な緊張感もあり、大変楽しい麻雀大会でした。今回初参加にもかかわらず、優勝することが出来、大変うれしいです。是非来年も参加したいと思います。

最後になりますが、企画いただいた県税協の役員の皆さん、お手伝いいただいた事務局の皆さんに感謝申しあげ、優勝のあいさつといたします。ありがとうございました。

税協販売の領収書の取扱いについて

現在、復興特別所得税の源泉徴収に伴い新しい領収書を販売しておりますが、昨年までの領収書(以下旧領収書)も同時に販売しております。旧領収書は『源泉所得税(10%)』と表記されており、『(10%)』を二重線等で消してご使用して頂くことになり、割引価格といたしました。

◎A版領収書(新潟県税理士協同組合版)

販売価格

	新領収書	旧領収書
2枚式領収書	330円	165円
3枚式領収書	430円	215円

◎B版領収書(関東信越税理士協同組合連合会版)

販売価格

	新領収書	旧領収書
2枚式領収書	270円	150円
3枚式領収書	420円	220円

※新領収書は通常価格です。旧領収書は割引価格になっており在庫限りです。